

意見交換会実施結果報告書

様式 2

番号	23-9
案件名	中野区地域公共交通計画（素案）について

1 意見交換会の実施状況（自治基本条例第14条の規定に基づき実施したもの）

(1) 実施概要

合計実施回数	2回
合計参加人数	2人

No.	日時	会場	参加人数	区側出席者（職名）
	令和5年12月8日（金） 18時～20時	中野区役所7階 第9・10会議室	1人	
	令和5年12月9日（土） 10時～正午	中野区役所7階 第9・10会議室	1人	

● 配付書類

- ・ 中野区地域公共交通計画（素案）-本編・資料編-
- ・ 中野区地域公共交通計画（素案）-概要版-
- ・

(2) 意見交換会における意見・質疑の概要と区の見解・回答 ※1

合計意見数	5件
-------	----

【第3章 公共交通サービス圏域】（1）件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	公共交通ネットワークの構築が難しいエリアが図に示されているが、そのような地域の方の年齢構成や移動実態、移動困難者の把握をするべき。 その上で鉄道や路線バスに繋がるような新しいモビリティが必要か、又は既存の公共交通を活かしながら福祉的な移動のサポートを充実させるべきか検討いただきたい。	公共交通ネットワークの構築が難しいエリアに居住する区民の属性等は、今後の施策展開にあたって把握していく必要があると考えている。また、若宮・大和町地域で行っている実証運行の結果等も踏まえながら、ラストワンマイル交通の必要性や福祉施策への展開を検討していく。

【第5章 施策】（2）件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
-----	------------	---------

2	中野区は交通の便が良く、公共交通が行き届いている。高齢者にとっては多少不便だと思うが、シェアサイクルや電動キックボード等の新モビリティを導入しても高齢者にとっては使いづらい。そのため、新モビリティの導入よりも、NPO等の活用等、福祉的な交通を検討いただきたい。	公共交通の補完や今後の運転手不足の深刻化への備えとして、高齢者も利用可能な福祉的な交通を含め、既存公共交通の活用や様々な交通手段を検討していく。
3	EVやFCVは、現時点で、大部分のエネルギー源が石炭・天然ガス等となり、CO2削減に繋がらないのではないかと危惧している。 電力源の脱炭素化の見通しも把握すべき。	区は、走行時にCO2を排出しない低炭素型の移動手段であるEVやFCVの導入を促進するため、普及啓発を図っていく。電力源の脱炭素化については、国や事業者の動向を注視していきたい。

【その他】 (2) 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
	中野駅周辺の開発により、西武新宿線沿線の商店街等における人の流れが少なくなることを懸念しており、区が目指す人口規模や人口分布等、区全体の方針を示してほしい。	中野区基本計画の中で、持続可能なまちであり続けるために、子ども女性比の一定の維持や出生数・合計特殊出生率の増加が必要であると示している。また、中野区都市計画マスタープランでは、各「まちの拠点（広域中心拠点・交流拠点・生活拠点）」の役割分担に則し、中野駅周辺だけではなく西武新宿沿線各駅等の拠点を育成・整備することとしている。
	西武新宿線の連続立体交差事業について、野方駅～井荻駅付近の具体的な方向性が示されていないが、地下化も視野に入れて検討してほしい。	西武新宿線の連続立体交差事業（野方駅～井荻駅付近）は、現在、東京都施行の準備中区間に位置付けられており、具体的な施工方法等は、検討中と認識している。

(3) 意見交換会における意見により変更した箇所とその理由 ※2

No.	変更した箇所	変更の理由
	なし	

2 その他の参加の手続き実施状況（個別意見の提出、団体等との意見交換等）

なし

※なしを選択した場合は、以下記入不要。

(1) 個別意見の提出

種 別	意見数
窓口	件
電子メール	件
ファクシミリ	件
電話	件
郵送	件
計	件

(2) 団体等との意見交換の実施状況

合計実施回数	回
合計参加人数	人

No.	団 体 名	日 時	参加人数	区側出席者（職名）
		会 場		
			人	
			人	

(3) 個別意見の提出、団体等との意見交換等に関する特記事項

関係団体宛にメール等にて資料を送付し、意見を求めた。
団体数：1 団体（中野区福祉団体連合会 ※連合会所属団体数は 10 団体）
特に意見はなかった。

※1 計画（条例）全体、項目ごとに作成してください。

※2 意見交換会における意見により区案の加除修正を行なった箇所がない場合も、その旨を明記してください。